

調査報告書

- 1 とき：2012年9月4日
- 2 行先：お台場レゴランド、国際展示場、多摩川河川敷・堤防道路
- 3 参加者：わしの恵子、岡田ゆき子、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容

【レゴランド】

- ・名古屋市は金城ふ頭のモノづくり文化交流点構想推進として、レゴランド誘致のための基盤調査の補正予算を9月定例会で予定しています。
- ・お台場デックス東京ビーチ(複合ビル)の6階に、今年6月にオープンした屋内型施設レゴランドの視察を行いました。
- ・ホームページやパンフレットには何も記載されてなかったが、入場は基本的に予約制のようで、予約していない人は予約者の入場がとぎれた時しか受け付けしてもらえないので待たされます。
- ・レゴファクトリーでは「どうやってブロックができるか」がテーマで映像を流していたが、誰も見ていなかった。
- ・シューティングゲームは、レゴを使用しておらず、単なるゲームだった。
- ・レゴでつくられた東京の街並みのジオラマは、ボタン操作により簡単な動きをする装置が4ヶ所あったが、国技館の相撲対決は壊れて使用不可となっていた。とてもきれいで夢があり人気のコーナーのようだ。
- ・ファイヤーアカデミーは、壁のぼり・滑り台などの遊具と大小のブロックで家を作ったりできるが、レゴブロックで遊ぶ子どもはほとんどいなかった。
- ・所々にレゴブロックがたくさん入ったビニールプールがあり、力作をつくと展示してもらえるらしいが、残念ながら人気がないようで無人のプールが多かった。
- ・デュプロビレッジは遊べるプレイランド。ワークショップは30分おきに教室を開催し、私たちも体験してきました。オウムをつくり、片づけまで20分の工程でしたが、ものづくりの考え方や楽しさを体験できる教室で大変良かったと思います。
- ・レゴレーサーは、さまざまなレゴでレーシングカーを自由に作りテストトラックで実際に走行もできる場所で、大人も真剣に作成していた。
- ・レゴブロックは想像力と発見や工夫等を育てるものだが、使い方を導かないと子どもたちはうまく使えないようにも思えた。

【国際展示場】

- ・ 駅から東京ビッグサイトに連絡する歩道橋を視察しました。
- ・ 金城ふ頭も、歩道橋でつなぐ計画です。



【多摩川堤防道路の視察】

- ・ 名古屋の庄内川堤防道路は便利ではあるが自転車も走り危険な道路でもあり、市民の方から安全対策の要望を受けています。
- ・ 東京ではスーパー堤防などで車と人を分けていると聞き、国土交通省管理職ユニオンの方に現地の案内と説明をしていただきました。
- ・ スーパー堤防は堤防と同じ高さで300メートル土を盛り、そこに歩道、車道が整備され、マンションなどが建っています。万一、堤防から水があふれた時は、うまくオーバーフローさせるしくみになっています。
- ・ スーパー堤防は「つくる価値」が問題となり、多摩川の上流では価値がないから無理らしい。大変な予算がかかり、現在は国の事業仕分けで止まっています。
- ・ 河川堤防の兼用道路は、河川法第17条で国・県・市町村の工事協議が定められています。計画や建設は基本的に、「兼用道路」は県、「利用」は市町村が中心に行います。道路から高水敷に行く階段などの進入方法は計画時の問題点の1つで、多摩川は手すりを階段の真ん中に取り付け、階段もたくさん設置する工夫をしています。確かに階段は多い方が良いと思いますが、庄内川河川道路のように、ガードレールも歩道もない道路では、歩行者の飛び出しの危険があり無理だと思いました。歩道があれば解決しますが…
- ・ 「既存の道路の幅を広げる事業は、まず全体的計画で示さなければいけない。
- ・ 名古屋の場合は盛り土方法が良いのではないかと。街路灯は堤防の下から取り付けたほうがよい。」とアドバイスをいただきました。
- ・ 多摩川でも予算削減で草刈ができていないなどの問題があるそうです。



これがスーパー堤防。

河川敷から 300 メートルにわたり緩やかに下っていて、マンションなども建てられています。マンションは地盤対策の基礎工事がなされているそうです。



階段中央に設置した手すり

手すりがないと危ないが、ゴミなどがたまる原因にもなる、ということで工夫した手すりです。防災のために階段がたくさんつくられていました。